

議会だより

No 185

令和7年
10月31日発行



令和7年 9月定例会

令和6年度 決算認定（一般会計・各特別会計）

令和7年度 補正予算可決（一般会計・各特別会計）

一般質問

8人の議員が町の考えを問う

- ・ 新村 貴紀議員
- ・ 神山 均議員
- ・ 松村 潤議員
- ・ 三ツ村由紀議員
- ・ 蟹和 孝一議員
- ・ 佐藤 富代議員
- ・ 塩井 早苗議員
- ・ 武井 清二議員

おうらスポーツフェスティバル

■町議会ってなあに？	2～3
■決算質疑	5
■可決された議案	6
■提出議案と議員の賛否	7
■一般質問	9～16

YouTubeにて邑楽町議会
チャンネルを開設しています
本会議の様子をご覧いただけます



町議会ってなあに？



教えてオーランドさん Vol. 2

ー町議会についての素朴な疑問にオーランドさんが答えますー

まだまだ知りたい町議会について、オーランドさんに聞いてみました。

Q 邑楽町議会の情報をもっと知りたいのですが・・・？

邑楽町議会の情報は、
次のようなSNSで発信されているよ。

1. 邑楽町公式ライン
2. おうらお知らせメール
3. X (旧ツイッター)
4. 邑楽町のホームページ
5. YouTube

邑楽町議会 チャンネル

特に、邑楽町公式ラインは町のイベント
や町のニュース、防災・緊急情報も発信
されるからまだ登録していない人はする
といいね。



町民の声を聴き
行政に反映

選挙

町 民



選挙

政策立案と行政
サービスの実施

町議会



予算・条例などの議決
政策提言

町 長



予算案・条例案
などの提出



邑楽町公式LINE
の登録はこちらから ↑

Q 邑楽町議会の様子をもっと知りたいのですが・・・？

議会の様子を知るには次の方法があるよ。
自分に合った方法を探してみてね！

1. YouTubeを視聴する **邑楽町議会 チャンネル**

定例会や臨時会の様子はYouTubeの邑楽町議会チャンネルで配信しているよ。令和5年9月定例会からの録画配信も視聴することができます。

2. 本会議を傍聴する

邑楽町役場の3階 議場で傍聴することができるよ。

3. 議会だよりを閲覧する

議会だよりは年間で4回発行しているよ。
議会だよりは町のホームページにも掲載されているね。

4. 会議録を閲覧する

定例会や臨時会の会議録は、邑楽町役場の図書室、町立図書館、中央公民館、高島公民館、長柄公民館で閲覧できるよ。
もちろん、町のホームページでも公開されているから探してみてね！

5. 議会報告会・意見交換会

議会の活動の様子を直接聞くことができるね。

告知 第4回 議会報告会・意見交換会 開催決定!!

- ☐ 日時 令和8年1月20日（火）
 - ＜受付＞ 午後6時から
 - ＜開始＞ 午後6時30分から午後8時まで
 - ☐ 場所 邑楽町役場 3階大会議室
- 予約不要でどなたでも参加いただけます



YouTubeの
邑楽町議会チャンネルの
登録はこちらから ↑

9月定例会

令和6年度の決算を認定

一般会計 歳入総額 118億8,574万円

歳出総額 114億4,319万円

町税収入 38億4,311万円（歳入総額の32.4%）



令和7年度完成予定の町営住宅

9月定例会では、令和6年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い、11日の本会議で各会計とも認定されました。

一般会計決算額は、歳入総額が前年度と比較して、3億1477万円の増額となりました。町税、諸収入、寄附金等が減少した一方、繰入金、国庫支出金、町債等が増加したことにより、繰入金が3億6909万円、国庫支出金が3億4115万円、町債が1億7339万円増加したこと等です。

町税収入は38億4311万円で、歳入総額に占める構成比は、前年度より5.9%減少の32.4%となりました。なお、町税の不納欠損については、前年度より560万円増加し1894万円の処理が行われ、収入未済額は前年度より1438万円少ない1億7162万円余りとなっています。収納率は、現年課税分で見ると令和4年度と令和5年度は99.1%、令和6年度は99.0%と推移し、いずれの年度も高い収納率を維持しています。これは、納期内納税の推進と納税相談などの取り組みの成果であり、今後も滞納繰越分も含めた収納率の向上に努めていきたいと思っています。

歳出においては、予算額118億2890万円に対し、決算額は114億4319万円で、執行率は96.7%となっています。前年度の執行率は95.3%であり、1.4%の増加となっています。令和7年度への繰越額は1億360万円、不用額2億8211万円であり、繰越額を除く執行率は97.6%となっています。物価高騰による経費の増加等で見通しのきかないこともあり、予算要求の難しさがありますが、今後も年度

内に事業を完了できるように一層の努力を求めます。

歳出総額は、前年度と比較して4億2048万円の増額となっています。増額の主な要因は、土木費は町営住宅建設事業の工事請負費の増額等により6億9106万円の増加、衛生費は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が定期予防接種になったことによる予防接種委託料の増額等により8843万円の増加、民生費は障害福祉の介護給付・訓練等給付事業扶助費の増額等により4718万円の増加によるものです。

令和6年度の一般会計の概要は、以上のとおりであり、実質単年度収支は赤字となりました。前年度は好調であった法人の業績が急落したことにより、町税が減少したことが大きく影響しました。依然として続く物価高騰の町財政及び町民の家計への影響は今後さらに大きくなっていくものと考えられます。これまで以

上に事業運営の効率化等による経費縮減が求められており、また、町行政に対する町民の期待は大きくなっています。町民のニーズを的確に把握し、最小の経費で最大の効果を挙げるよう、業務の電子化や関係機関との連携の推進などによる住民サービスの向上、各事業運営の改善や効率化をより一層推進されるよう要望します。

(監査委員による決算審査意見書抜粋)



令和6年度決算額

会 計 別	歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引 額
一 般 会 計	118億8,573万8,066円	114億4,318万6,917円	4億4,255万1,149円
国民健康保険特別会計	29億6,799万7,890円	28億 307万 464円	1億6,492万7,426円
後期高齢者医療特別会計	4億6,641万1,954円	4億6,515万3,207円	125万8,747円
介護保険特別会計	22億6,583万8,824円	21億4,512万4,652円	1億2,071万4,172円
公共下水道事業会計	3億7,649万3,907円	3億2,504万3,821円	5,145万 86円 (税引前当期利益)



Q 松村潤議員 外国人住民に対して、日本人住民と同様に適正な滞納整理が行われているのか。

A 税務課長 外国人住民に対して、日本人住民と同様に、督促、催告、納付相談指導、さらには差し押さえなどの滞納処分を適正に行っている。

**決算の
主な質疑(要旨)**

一般会計、各特別会計の決算にあたり、行政効果などについて質疑が行われました。

Q 武井清二議員 新商品開発補助金について、補助を受けた事業者は経営状況や開発商品のその後を報告する義務があるが、行政のチェック体制はどのように行っているのか。

A 商工振興課長 補助実施年度終了後2年間、状況報告書の提出を依頼している。



Q 神山均議員 町の税収では町民税が大きな財源となっている。今後の財源確保に向けた取り組みは。

A 町長 町民税は、個人、法人を含めて住宅、工場など立地できる用地を確保し、そこに企業等を誘致して、働ける場を確保していくことが歳入確保につながる。

可決された議案

【人事案件】

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の推薦について同意しました。

福島慶子さん（中野）
森戸栄一さん（篠塚）
横山みどりさん（狸塚）

行政不服審査会委員の委嘱

行政不服審査会委員の委嘱について同意しました。

高木祥充さん（太田市）
近藤雅義さん（狸塚）
吉田訓子さん（藤川）

情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱

情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について同意しました。

高木祥充さん（太田市）
近藤雅義さん（狸塚）
吉田訓子さん（藤川）

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

多田哲夫さん（赤堀）

【条例改正等】

大泉町外二町環境衛生施設組合の規約変更の協議

令和8年7月から新たに太田市外三町清掃斎場組合として供用開始されることに伴い、規約変更の協議をしました。

太田市外三町広域清掃組合の規約変更の協議

令和8年7月から新たに太田市外三町清掃斎場組合として供用開始されることに伴い、規約変更の協議をしました。

邑楽町議会議員及び邑楽町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正

「公職選挙法施行令の一部を改正する政令」等の公布に伴い、条例の一部を改正しました。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町職員の育児休業等に関する条例の改正

「地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律」等の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町特別職の報酬、費用弁償条例の改正

「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律」等の公布に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正

「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並び

に特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令」の公布に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町災害遺児手当支給条例の改正

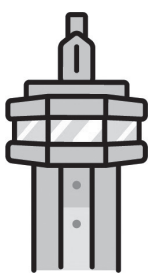
手当の受給資格に係る国籍要件を撤廃するため、条例の一部を改正しました。

邑楽町公共下水道条例の改正

災害その他非常の場合において、他の市町村長の指定を受けた者に排水設備等の工事を行わせることを可能とするため、条例の一部を改正しました。

町道の路線認定及び廃止

町道の利用状況の変更及び民間開発等に伴い、町道路線の認定及び廃止を行いました。



令和7年度補正予算額（9月）

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	118億7,389万円	7億 509万円	125億7,898万円
国民健康保険特別会計	25億5,633万円	1億8,281万円	27億3,914万円
後期高齢者医療特別会計	4億8,050万円	232万円	4億8,282万円
介護保険特別会計	21億7,467万円	1億4,431万円	23億1,898万円
公共下水道事業会計	収益的収入	△1,821万円	3億7,156万円
	収益的支出	△1,910万円	3億2,904万円
	資本的収入	4,334万円	2億 74万円
	資本的支出	4,911万円	2億6,389万円

※四捨五入の計算上、予算総額に誤差があります。

令和7年第3回邑楽町議会定例会 提出議案と議員の賛否

		議席番号														議員名	結果
議案等		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
		山本裕子	三ツ村由紀	武井清二	新村貴紀	神山均	蟹和孝一	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	瀬山登	松島茂喜	塩井早苗	原義裕	松村潤		
第3回定例会（9月）																	
報告第1号	令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について																-
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(福島慶子さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(森戸栄一さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(横山みどりさん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
同意第2号	行政不服審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて(高木祥充さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
同意第3号	行政不服審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて(近藤雅義さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
同意第4号	行政不服審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて(吉田訓子さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
同意第5号	情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて(高木祥充さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
同意第6号	情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて(近藤雅義さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
同意第7号	情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて(吉田訓子さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
同意第8号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(多田哲夫さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同	意
議案第29号	大泉町外二町環境衛生施設組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第30号	太田市外三町広域清掃組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第31号	邑楽町議会議員及び邑楽町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第32号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第33号	邑楽町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第34号	邑楽町特別職の報酬、費用弁償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第35号	邑楽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第36号	邑楽町災害遺児手当支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第37号	邑楽町公共下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第38号	町道の路線認定及び廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第39号	令和7年度邑楽町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第40号	令和7年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第41号	令和7年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第42号	令和7年度邑楽町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
議案第43号	令和7年度邑楽町公共下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可	決
認定第1号	令和6年度邑楽町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認	定
認定第2号	令和6年度邑楽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認	定
認定第3号	令和6年度邑楽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認	定
認定第4号	令和6年度邑楽町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認	定
認定第5号	令和6年度邑楽町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認	定

※ ○…賛成 ×…反対 欠…欠席
議…議長（議事進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します）

令和6年度 健全化判断比率及び資金不足比率

健全化判断比率	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	算 定 されず	14.17%	20.00%
連結実質赤字比率 財政規模に対して、町の持っている全会計が出した赤字額の割合	算 定 されず	19.17%	30.00%
実質公債費比率 財政規模に対して、借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合	6.6%	25.00%	35.00%
将来負担比率 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	算 定 されず	350.00%	

資金不足比率	邑楽町	経営健全化基準	備考
公営企業の事業規模における資金の不足額の割合	算 定 されず	20.00%	公共下水道事業会計での算定

※黒字の場合「算定されず」で表示され、町の財政が健全であることを示しています。

町政を問う

一般質問

一般質問は、9月3日及び4日に行われました。質問には、8人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

■飼い主のいない猫について	新村 貴紀議員	9 ページ
■教育・子育て支援について	神山 均議員	10 ページ
■防災・減災対策について	松村 潤議員	11 ページ
■ふるさと納税制度の現状と課題	三ツ村由紀議員	12 ページ
■高齢化が進む高齢者福祉政策の現状について	蟹和 孝一議員	13 ページ
■高齢者見守り活動の拡充	佐藤 富代議員	14 ページ
■蓄電所建設について	塩井 早苗議員	15 ページ
■町の新しい収益基盤と関係人口施策について	武井 清二議員	16 ページ

一般質問



新村 貴紀
議員

飼い主のいない猫について

問 飼い主のいない猫について、令和6年3月定例会の一般質問において、

どうぶつ基金の加盟を含め考えるということで一度お話をいただいた。猫の不妊治療で、特に飼い主のいない猫に関して、頭数を減らすという目的で行うことであるが、その後について何も話がない。その点について、担当課長に伺う。

答 建設環境課長 公益財団法人どうぶつ基金が

実施する無料不妊手術チケットや県が実施している飼い主のいない猫対策事業の利用について、現在検討を進めているところである。どちらの事業においても地域猫活動を行うことで、飼い主のいない猫をこれ以上

増やさないために、不妊、去勢手術をするに当たっての費用負担が受けられるものである。地域猫活動においては、地域住民、ボランティア、行政が一体となつて取り組む野良猫対策である。地域猫活動は、猫を捕獲、不妊、去勢手術をして、元のテリトリーに戻す活動であり、飼い主のいない猫の繁殖を抑え、自然に数を減らしている。活動の主体となる地域住民や行政区、専門的な知識を持った団体、行政が協働の体制をつくって取り組むことが重要である。現在の状況として、生活環境委員への地域猫活動の周知とボランティア団体と意見交換等を行っている。今後、地域猫活動の登録等

の要望を基に、加入等の手続きに向けて動いていきたいと思う。これからも野良猫を増やさない取り組みとして、猫を飼っている人たちへの屋内飼育や不妊、去勢手術、虐待、遺棄の防止や地域猫活動の周知、ボランティア団体等の協力を行うていきたいと思う。

問 地域のいろいろな調整をしながらやらなくては

いけないと理解した。特にボランティア活動をやられている団体からの相談があれば、町も積極的に対応していただきたい。ボランティア団体や地域の委員に趣旨の説明をしてほしい。活動をやめずに進めてほしい。町長に、1年前に一般質問をしたが、今の課長の

説明のとおりに進めていくということであれば、その旨をお話ししていただきたい。

理解を得た上で進めていかなければならない

答 町長 基本的には担当課長が答弁したとおりである。どうぶつ基金への加盟に当たっては、それぞれの野良猫を地域猫として登録をしていく必要がある。それに当たっては、やはり

町の考えだけではなく、地元的生活環境委員等の役員、ボランティア団体等と話し合いをしながら、理解を得た上で進めていかなければならない。この地域猫活動については、なかなか行政区からのご理解を得られない部分もあり、引き続きボランティア団体等も交えながら、このどうぶつ基金への加盟、事業の利用ができるよう、担当課が中心となつて進めていければと考える。



地域猫

その他の一般質問
・地域資源、ゴミの出し方について



神山 均
議員

教育・子育て支援 について

問 経済的な理由による教育格差についてどのような認識をお持ちか。

答 **教育長** 家庭の経済的な事情によって、子どもの学びの環境に差があることは、決して望ましい状況とは言えない。国や県、市町村は、そのような経済的事情による教育格差を是正し、一人一人が可能性を追求できる社会の実現に向けてさまざまな支援策を講じていく必要がある。

問 塾に通えない経済的に厳しい家庭の小学校高学年や中学校の児童生徒を対象に、各小中学校や公共施設で放課後の時間を利用して、学校支援員や教員OBなどによる学習支援の取り組みなどはないか。

答 **学校教育課長** 今年度行っている取り組みとして、NPO法人が学習の機会に恵まれない児童生徒のために、寄り添い型の学習支援、邑楽チャレンジ教室を中央公民館で毎週水曜日の放課後に無償で開催し、6〜7名の中学生が利用している。放課後の学校支援員や教員OBなどの学習支援は人件費の確保などを考慮した上で検討していく必要がある。

問 高校受験を控えた中学3年生のうち、経済的に厳しい就学援助費受給世帯などに限り、塾で受講するための授業料相当額の費用を助成できないか。

塾代の助成は難しい

答 **町長** まずは無償の学習支援を進めていきたい。現在、児童全員にタブレット端末を配付しているが、大変経費がかかっている。各自が通う塾代の助成は現状では難しい。

問 安全に子どもを産み育てる環境を整備し、出生数の増加につなげることは重要。自宅から出産する医療機関まで、ある一定の距離がある場合、妊産婦健康診査や出産のための入院時の交通費及び必要な宿泊費の助成ができないか。

答 **町長** 令和7年度の予算編成に当たり、担当課と交通費などの妊産婦健康診査に係る費用の補助などを検討した経緯がある。その結果、妊娠、出産に関わる給付に加え、現在の出産祝金など、それ以外の給付等も考慮すると、他市町と比べて劣っているという状況ではないと総合的に判断し、今回は追加的な給付を見送った経緯がある。今後も国の支援も含めて、館林市や郡内の他町と情報共有しながら、町として今後見劣りがしないよう検討を重ねたい。

問 公立館林厚生病院の周産期医療の再開に向けて現状は。

答 **健康づくり課長** 以前から産科の再開を希望する声が多くある。病院としては、出生数が減少している中、再開によって多額の収益赤字が見込まれることから、他の診療部門での収益で、その赤字分の補填が見込めないと産科の再開は難しい状況。町としては、構成自治体と連携し、費用

対効果等も踏まえつつ、産科の再開を要望していきたい。

※教育格差

：親の収入などによる格差が子どもの教育環境にも反映される問題であり、生まれ育った環境により受けることのできる教育に生じてしまう格差
※就学援助費受給世帯
：経済的な理由により小・中学生の就学が困難なため、学校でかかる費用の一部を援助される世帯

その他の一般質問

- ・ヤード等の条例制定及び町道整備について
- ・農業用機械購入費補助事業について
- ・ハラスメント防止条例の制定について



邑楽南中学校体育祭

一般質問



松村 潤
議員

防災・減災対策について

問 罹災証明書を受けることにより、どのような公的支援を受けられるか。

答 総務課長 損壊した自宅を修理するための費用の一部支援や居住できる家がなく、自身の資力では住宅を確保できない人のために最長2年、家賃が無料になる応急仮設住宅支援や災害援護資金の貸付制度などがある。

問 内閣府では、災害時の支援金受給などに必要な罹災証明書の発行手続きを迅速化するために、自治体と損害保険会社との連携を推進しているが。

答 総務課長 災害対策は行政だけでは困難である。官民連携は大規模化する災害に対応していく上で、

非常に重要である。

問 時間と労力を減らすために、官民連携による罹災証明書発行の導入を検討すべきと考えるが。

答 町長 業務を効率的に行うためには、官民連携が必要である。罹災証明書の発行だけでなく、さまざまな分野で官民連携を深めて、対応に当たっていく。

問 地震に伴う電気機器からの出火を防ぐには、強い揺れを感じると自動的に電気を遮断する感震ブレーカーが有効である。設置費用の助成を実施すべきと考えるが。

答 総務課長 先進的に取り組み組んでいる自治体から助成の効果など情報を収集する。

問 震災の歴史を振り返ると、阪神・淡路大震災、東日本大震災では、火災による被害が全体の60%を占め、その多くが通電火災によるものであった。感震ブレーカー設置費用の助成ができないか。

答 総務課長 地震後の火災について、感震ブレーカーは非常に有効である。感震ブレーカーの設置費用の助成について前向きに検討する。

問 町民の生命・財産を守り、除くことができるか。避難所において大変大きな課題となっているのがトイレの問題である。県内自治体のトイレカー、トイレトレーラーの保有状況は。

答 町長 水洗トイレは衛生的で、健康被害などの二次被害を防げるメリットがある。町の財政状況も今後十二分に加味し、導入の調査研究を進めていく。

答 総務課長 県内では、4自治体が保有している。

問 国の中央防災会議では、トイレ、キッチン、ベットの速やかな配置を掲げ、トイレカー、トイレトレーラーなどの配置に努力することが明記されている。大災害への備えとしてトイレカー、トイレトレーラーの導入を進めるべきと考えるが。

答 総務課長 引き続き研究を重ね災害時のトイレの確保について検討する。

問 企業版ふるさと納税や国の緊急防災・減災事業債を活用し、導入できないか。

答 町長 今後導入の調査研究を進める

答 町長 水洗トイレは衛生的で、健康被害などの二次被害を防げるメリットがある。町の財政状況も今後十二分に加味し、導入の調査研究を進めていく。



自走式のトイレカー（八幡市ホームページより）

その他の一般質問
・奨学金の返還支援制度について



三ツ村 由紀
議員

ふるさと納税制度の

現状と課題

問 直近5年間の町へのふるさと納税の寄附額を伺う。

答 財政課長 令和2年度1228万円、令和3年度4298万円、令和4年度7074万円、令和5年度1億6091万円、令和6年度1億1432万円である。

問 寄附をする際に、選べる使途項目は。

答 財政課長 ①地域で支え合う健康と福祉のまちづくり、②安心して子どもを産み育てられるまちづくり、③災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまちづくり、④その他のまちづくりの4項目である。

問 返礼品の種類と総数は。

答 財政課長 ビール類、肉、パン、野菜、ピザ、ギョーザ、菓子類、弁当などの食料品、枕、クッション、バッグ、せつけん、美容用品、ベビー用品、ペット用品、植物、家具など840種類である。

問 返礼品の人気ベスト5は。

答 財政課長 上位4位までがビール類で、第5位は美容用品である。

問 令和4年度をピークに寄附額が減少しているが、要因は。

答 財政課長 総務省による地場産品の規制の厳格化等によると考えられる。返礼品開発における事業者支援体制について。

答 財政課長 返礼品に特化した開発支援ではないが「邑楽町新商品開発推進補助金」を受けて開発された商品は、返礼品にできる可能性があると考ええる。

問 地場産品を活用した「定期便」の現状や「体験型返礼品」の導入可能性について。

答 財政課長 「定期便」は、ピザや、美容用品、ビール関係で既に取り組んでいる。「体験型返礼品」については、農業体験などができる観光農園がないため、導入は難しいと考える。

問 寄附者にリピーターになってもらうための策としてのアフターフォローについて。

答 財政課長 希望があれば広報紙を発送したり、町ホームページやSNSなどを通じて、返礼品の周知も含め魅力の発信に努めている。

問 SNS広告や動画発信、ふるさと納税サイトの最適化など広報戦略の強化について。

答 財政課長 現在町では、有料広告は利用していない。理由は、広告費を支払うことになる、その分、返礼品ごとの寄附額も上げる必要が生じるためである。

問 ふるさと納税制度の規模の拡大について町長の見解を伺う。

ふるさと納税制度の拡大に努めていきたい

答 町長 ふるさと納税で得られた財源が各事業に活用され、住民サービスに直結することから、この制度を最大限活用して、できることは努力していく必要がある。職員の知恵も絞りながら、さらにこのふるさと納税制度の拡大に努めていきたい。



ふるさと納税返礼品

一般質問



蟹和 孝一
議員

高齢化が進む高齢者福祉 政策の現状について

問 町の高齢化率は全国及び県などと比較しても高く推移している。令和5年では32・6%だったが、2年後ではどれほどの数字になっているのか聞きたい。

答 **福祉介護課長** 令和7年3月末における高齢化率は33・4%である。令和5年3月末の高齢化率は32・6%と比較すれば、0・8ポイントの上昇である。

問 現在町の65歳以上の高齢者数は男女合わせて何人になるのか聞きたい。

答 **住民保険課長** 65歳以上の高齢者数は、男女合わせて令和7年3月末現在8500人である。

問 町はこれまでに高齢者福祉に対しては、多くの福祉政策を実施しているが、それでも高齢者全ての人たちに行き届いている訳ではないだろうと考える。多くの高齢者が自立し、生きがいを持って暮らしていく。そして、邑楽町に住んで良かったと思ってもらえる。多くの支援が必要と考える。高齢者に対しての福祉政策について町は、どのような展望を描いていくのか聞きたい。

答 **副町長** 町の政策そのものについては、担当課や町長の方で決定していくわけだが、高齢化の問題については、世代間のバランスが崩れるということが1番の問題だと考える。若い人が増えれば、高齢者を養うだけの税金やマンパワーができるのではないかと

問 少子高齢化の中において今後の介護費や医療費等の増加については、どのように考えるのか。

答 **副町長** 高齢者に経費等がかかることに関しては、国の方で介護保険や医療制度を含めてシステム化対応を行っているところだ。

問 町には多くのグループやボランティア組織等がある。支援をされているが、その取り組みを伺う。

答 **福祉介護課長** 邑助けネットワークをはじめ地域に密着したボランティアや民生委員・児童委員が生活上のさまざまな相談に応じ、高齢者世帯の見守りや安否確認を行っている。今後も高齢者が安心して暮らし続けられるように関係団体と連携し、支援していきたい。

問 少子高齢化を見据えて町は、どのような方向性を目指していくのか。

自分らしく暮らせる町を目指していきたい

答 **町長** 町の高齢化率は33%を超えている。3人に1人が65歳以上の高齢者という状況である。誰もが地域でつながりを持ち、共に支え合い、自分らしく暮らせる町を目指していきたい。



買い物を楽しむ高齢者の人たち



佐藤 富代
議員

高齢者見守り活動の拡充

問 令和2年の国勢調査では、1人暮らし高齢者世帯は10・4%、高齢者夫婦世帯は15・9%である。10年後の高齢者人口は。

答 福祉介護課長 令和7年度8420人であるが、10年後には8212人と予測。前期高齢者がかなり減少し、後期高齢者の増加が見込まれる。

問 1人暮らし高齢者に対する見守りサービスは。

答 福祉介護課長 緊急通報装置の貸与、住宅用火災警報器の給付、救急医療情報キットの交付、手渡しによる配食サービスなどである。

問 消費者安全確保地域協議会設置とは。

答 商工振興課長 消費者被害を防ぐため、地方公共団体と地域の関係者が連携して取り組む組織である。この協議会のメリット

は個人情報保護法の例外規定が適用され、個人情報の第三者提供が可能となる。邑助けネットワーク等の構成員と消費生活センターとの間で情報を共有し、実効性のある見守り活動が可能となる。令和7年4月1日に設置し、県内では渋川市、館林市、邑楽町の3市町である。

問 てくてくパトロールについて。

答 総務課長 てくてくアプリ登録者を対象に開始した。希望者にオリジナルの啓発物品を貸与し、日

常生活やウオーキング時に身に着けながら行う防犯活動である。地域防犯力の強化と防犯活動の見える化を目指す。

問 孤独・孤立対策推進法について。

答 福祉介護課長 孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会、相互に支え合い、人と人のつながりが生まれる社会を目指して、令和6年4月1日に施行。基本理念や自治体の責務などが明確化された。自治体では、地域の実情にあった施策を策定、実施するための地域協議会の設定に努める。

問 町の取り組みについて。

答 健康づくり課長 引きこもりや自殺予防として、サロンの開催、健康相談、講演会、ゲートキーパー養成研修会などを実施している。

答 福祉介護課長 誰でも気楽に立ち寄れる居場所の創出、行政区サロンへの講師派遣や通いの場の立ち上げ支援、スマートフォンを使った仲間づくり、介護者同士の交流教室などを実施している。

答 生涯学習課長 今まで培ってきた地域との関係性や町民とのつながりを生かしながら、学びを通じて人づくり、つながりづくり、地域づくりの循環を図っている。

問 人と人のつながりが実感できるまちづくりについて。

答 教育長 公民館活動や関係団体の活動の振興や地域と共にある学校づくりの推進が重要である。

見守り活動を
充実したい

答 町長 重層的な見守り活動は、人と人のつながりを実感し、元気に暮らすための重要な取り組みである。今後も町民の力を借りながらさらに充実させていきたい。



新たな形の見守り～てくてくパトロール

一般質問



塩井 早苗
議員

蓄電所建設について

問 今年2月、光善寺の建
設場所に近い住宅に、
蓄電所を建設しますと紙1
枚がポストイングされた。
説明会もなく進めてしまう
事業者の誠意のなさに憤り
を感じた。ようやく事業者
による説明会が7月5日に
開かれた。事業者の説明は
とても納得のいくものでは
なく、説明会は紛糾し、説
明の曖昧さに怒りをぶつけ
る場面もあった。町には現
在どのような事業所から何
件の問い合わせがあるか。

答 **都市計画課長** 申請が
1件、受け付けをする
直前の個別相談が1件、電
話での問い合わせが4件あ
った。

問 蓄電所から発生する騒
音や低周波が人体に及

ぼす影響に対して、町はど
う考えているか。

答 **都市計画課長** 蓄電施
設から発生する騒音、
低周波については、国等の
基準及び邑楽町土地開発事
業指導要綱に基づき事業者
に遵守を求め、騒音、振動
が基準値を超えない対策を
講じるよう、防音壁の設置、
低騒音型の機械の採用、定
期的な点検などを事業者の
責務として指導していく。
地元の集会所での説明会を
事業者に開催させ、丁寧な
説明をするように指導して
いる。

問 光善寺の予定地では、
森や人家がすぐそばに
ある。大変危険であると言
わざるを得ない。火災発生
の危険に対し、町はどう考

えているか。

答 **都市計画課長** 蓄電池
の容量に応じて土地開
発事業指導要綱に基づき、
町としては雨水浸水対策な
ども含めて、これらの安全
対策が適切に行われるか、
消防署と連携して指導して
いく。

問 設備が劣化した時のリ
サイクルや廃棄処分
の責任の所在について、条例
や国の決まりがない中でど
う考えているか。

答 **都市計画課長** 蓄電施
設については、国・県
で準備中であるが、町の土
地開発事業指導要綱に基づ
き、事業者に回収ルート、
最終処分方法、費用負担を
具体的にした計画を作成す
るよう指導し、早急に国や

県に対し、一層の法整備、
支援を求めていく。

問 住民のほとんどが不安
に思い、反対している
が、住民が十分な理解と納
得ができるまで工事を進め
ないよう、町として指導し
ていただきたい。マスター
プランの将来土地利用計画
に記載されている「産業地
は工業団地へ集約してい
く」という言葉のとおり、
騒音や低周波音、火災の危
険のある設備は工業団地の
中に集約していくべきだ
と思うが町長の考えは。

工業団地へ集約が理想

答 **町長** 再生可能エネル
ギーの導入と地域住民
の安全の両立はしっかりと
図っていかねければならな
い重要な課題だ。地域の理
解が得られるまで複数回で
も開催をするよう指導した
い。人体に影響を及ぼした
り災害時に危険性がある工
場は、今後工業団地に集約

されていくのが理想だと思
うが、なかなか現実の対応
は難しい。今後も近隣の状
況を踏まえ、十分検討を重
ねていく。



工業団地に建設されている他社の蓄電所



武井 清二
議員

町の新しい収益基盤と 関係人口施策について

問 町の総合計画において、公共サービスの充実が重要であるが、その原資となる収益基盤の構築が弱いと感じている。人口減少による税収減の中で資金を生み出す仕組みを進めなければならない。現行政では資金や人材、時間が限られており、専門的知識も乏しい状況である。だからこそ民間との連携で不足を補い、新しい収益基盤を築くべきである。まず町内の地域活性化事業の現状について伺う。

答 **企画課長** 直営のシンボルタワーは赤字である。指定管理者制度を導入している農畜産物処理加工施設「あいあいセンター」は地産地消や利便性向上を

目的としており、また福祉施設3カ所も福祉的要素が強い。

問 ふるさと納税につなげる農産物加工販売やトリート的な観光施設、体験型事業、さらに「オーランドさん」を活用したブランド戦略など、収益化につながる事業は多い。そこに民間のノウハウや資金を取り入れれば効率的かつ収益性の高い事業が可能になる。町長の考えを伺う。

答 **町長** これまで行政は収益を生む視点が弱かったが、オーランドさんや町のキャラクターとして定め、イベントやブランド認証制度に活用している。まずはブランド力を高め、町の魅力発信を進めたい。

問 知名度を高めるだけでは十分ではない。茨城県境町のような官民連携手法の活用や、事業収益を目的とする第三セクターを設立し、農産物加工販売や観光事業、商業、教育、企業誘致、町のブランディングなどを一体的に連動させて進めれば収益化に近づく。そこで伺う。町が新しい事業を進める際、資金調達はどのように考えているか。

答 **町長** 国や県の補助金が基本であるが、指摘のとおり、ふるさと納税やクラウドファンディング、サポーター制度など新たな仕組みも有効である。

問 資金調達に関しては、町民や町外の人々が投資参加型で関われる仕組みを導入すれば、資金が集まると同時に町への愛着や全国への関係人口の拡大も実現できる。AIに特化した第三セクターや第二のふるさと住民登録制度と組み合わせれば、邑楽町を先進的なモデルとして全国に発信できる。こうした方向性について町長の見解は。

答 **町長** 地域資源を活用した収益基盤の構築と関係人口の拡大は重要施策である。議員の提案も踏まえ、先行自治体の取り組みを参考に、今後の総合計画に反映させて町の活性化を図っていきたい。



オーランドさん
邑楽町マスコットキャラクター

みんなで築く邑楽町



休憩室 The Lounge

クラス会



三ツ村 桂子
(本郷江原・29区)

はや何十年続いているでしょうか？中学の時のクラス会。以前は小型バスで日帰り旅行に出掛けたこともありましたが、その後、コロナ禍に入り6年間の中断を経て、また復活しました。

今は年3回のペースで食事を近郊で開き、近況報告や健康のことを話題にして話に花を咲かせたり、童心に返り爆笑し、時を過ごします。

また、昨年春には喜寿を記念して「全員が福でいられますように」と願いを込めてフクロウのキーホルダーを作り、全員で身に着けました。

次回の食事は11月にあります。今後何回出席できるかわかりませんが、体調管理に気を付け、頑張りたいと願っています！

議会のうごき

8月

- 12日 産業福祉常任委員会視察調査
(社会福祉法人 邑楽町社会福祉協議会)
- 19日 総合開発計画審議会
- 20日 議会運営委員会
邑楽町戦没者追悼式
- 21日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 22日 産業福祉常任委員会
全員協議会
- 25日 群馬東部水道企業団議会
- 28日 都市計画審議会

9月

- 2日～12日
第3回定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、全員協議会、議会広報委員会)
- 24日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 26日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 29日 群馬県町村議会議長会議会広報研修会
- 30日 総合開発計画審議会

10月

- 1日 議会広報委員会編集会議
- 6日 群馬東部水道企業団議会
- 10日 議会広報委員会校正会議
- 15日 産業福祉常任委員会視察調査
(邑楽町商工会)
- 17日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会
町村議会議員のハラスメント防止
動画研修
- 26日 館林地区消防組合消防隊秋季点検
- 27日～29日
議会運営委員会・常任委員会合同
視察調査(長野県)
- 30日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 31日 総合開発計画審議会

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は**12月1日** から**5日**を予定しています

(開会原則、午前10時 一般質問は2日、3日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。
議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、中央公民館、長柄公民館、高島公民館に置いてあります。
また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

邑楽町議会

検索



詳しくは、議会事務局まで ☎47-5000

YouTubeにて邑楽町議会チャンネルを開設しています。

本会議の様子をご視聴いただけます。

群馬県館林市

私 のふるさととは、邑楽町の隣の館林市です。

最近では日本遺産の「里沼」に認定されました。その中でも市内の中心部にある城沼は、5月になるとつつじが咲き、東京からのアクセスが良いことで多くの観光客が訪れ、名物のうどんも人気があります。

稲荷神社があります。第105代後奈良天皇の御代、天文元（1532）年に尾曳城（後の館林城）城主赤井照光が城の鬼門に当たる稲荷郭の地に守護神として創始した貴重な神社です。また、元館林藩主犬公方で有名であり、日本で初めて動物の愛護を行政として行った国の指導者である徳川5代将軍綱吉の生誕の地で

もあります。私もその地に生まれた者として現在、猫の保護団体ボランティアの一員として参加しています。日夜、時間があれば猫を保護しています。



保田 朝夫
(前原・4区)



おうらまち
議会だより

No 185



つつじが丘公園から見た城沼

編集後記

今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。猛烈な夏の暑さが嘘だったかのように、めっきりと涼しくなり肌寒さすら覚える季節となりました。

町では現在、令和8年度以降を見据えた「第七次総合計画」の策定に向けて準備が進められています。この計画は町の将来像を描き、今後のまちづくりを方向付ける重要な方針であり、また未来に直結する大切な道しるべのようなものです。議会でも活発な議論が重ねられています。計画づくりのもっとも基盤となるのは日々の暮らしの中でいただく皆さんの声であると強く感じております。今後一人一人の声を真摯に受け止め、皆さんと共に「住んで良かった」と実感できる町を築けるよう努めてまいります。

(山本記)

